



●平成31年3月卒業 能勢高校65期生（中高一貫・総合学科13期生）進路状況●

卒業生数 男37名 女20名 計57名

	65期生(人数・割合)		64期生	63期生	62期生
四年制大学	7	12.3%	17.8%	26.5%	16.1%
短期大学	4	7%	15.6%	6.2%	5.3%
専門・各種学校	21	36.9%	31.1%	51.8%	51.8%
(このうち看護学校)	(3)	5.3%	(2.2%)	(3.6%)	(3.6%)
就職	19	33.3%	26.6%	38.8%	25.0%
その他	6	10.5%	8.9%	1.8%	1.8%
卒業生数	57人	100%	45人	56人	56人

合格大学

奈良教育大学、佛教大学、大阪経済法科大学、大阪電気通信大学、  
梅花女子大学、朝日大学、創価大学

合格短大

関西外国語大学短期大学部、湊川短期大学、大阪芸術大学短期大学部

専門学校進学先

公立南丹看護専門学校、大阪保健福祉専門学校、大阪医療看護専門学校、  
箕面学園福祉保育専門学校、神戸国際調理製菓専門学校、神戸電子専門学校、  
中央工学校、修成建設専門学校、駿台観光&外語ビジネス専門学校、  
大阪ECO動植物海洋専門学校、日本分析化学専門学校、大阪自動車整備専門学校、  
放送芸術学院専門学校、大阪総合デザイン専門学校、大阪ペピィ動物看護専門学校、  
大阪アミューズメントメディア専門学校、大阪ビューティーアート専門学校、  
大阪ウェディング&ブライダル専門学校

おもな就職先

日本郵便、ダイハツ工業、陸上自衛隊、福山通運、岐阜・大成化工、ボルツ、  
豊悠福祉会、ネクステージなど



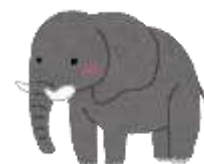
はじめまして！タイから来たオスカーです



今年もタイから長期留学生が来ました。カスティデック・ラッターバンクルアイ、16歳です。ニックネームはオスカーです。ホストファミリーは農家民宿「みちくさ」を営む地黄の三上さんで、そこから毎朝自転車で通学しています。学校では2年生のクラスに入り一緒に授業を受けています。日本語学習では地域の日本語ボランティアの方々に来ていただいています。『タイの学校では工学を勉強していて、進んだ技術を持つ日本のことをもっと知りたいと思い留学を決めました。留学中はタイの文化を多くの人に知ってもらいたいのので、いろいろな活動に参加したいと思います。また、人生で初めてとなる雪もぜひ見てみたいです。どうぞよろしくお願いいたします！』

サワディ〜！（こんにちは）

オスカーは来年の2月まで日本に滞在予定です。



わたしは オスカー です。  
フルネームは カンデ ラッタバンクルイ です。  
タイから来ました。十六歳です。日本に来て 2ヶ月たちました。  
のせこころは かわえて ハッピー です！  
この間、日本語わからなかったけど、みんなが教えてくれて、  
いまでは だいぶわかるようになりました。  
がっこうでは 東洋音楽部、テニス部、茶道部、書道部、弓道部、  
空手道部に さんかして います。  
わたしは アニメも大好きです。一番好きなのは「君の名は」です。  
なぜなら わたしが 日本語を べんりょう しよう と思ったのは 知りかて  
「君の名は」を見たから です (^ω^)

ออสการ์ ออสการ์-ญี่ปุ่น

1年生が『わっぱる』で活動しました！

4月26日（金）、能勢町にある青少年自然の家『わっぱる』にて、1年生がHR（ホームルーム）活動を行いました。この活動を通してクラスの親睦を図るのが目的です。また、「ハートアクティビティ」では能勢アウトドアスクールから講師の方を招いて講習を受け、グループに分かれて活動し、人間関係の大切さを学びました。アウトドアクッキングでは火起こしなど一から行い、カレーライスを作りました。大自然の中、クラスでひとつの目標を達成できた一日となりました。



スーパーグローバルハイスクールとは…

国際的に活躍できる人材育成を行う高校を文部科学省が指定する制度です。語学力だけでなく、社会の課題に対する関心や教養、コミュニケーション能力、問題解決能力などを身に付けたグローバル・リーダーの育成をめざしています。全国で123校が指定されました。能勢高校は平成27年度に指定を受け、5年目となる今年が最後の年となります。1, 2年生はSGH後継事業として、GS（グローバル・スタディー）講座として活動を継承していきます。

**今年度 SGH の取組み**



2, 3年生 SG・GS 重点講座 選択生徒 16名

☆課題研究テーマ：

ドイツ「地方創生『能勢版シュタットベルケを考える』～再生可能エネルギーと地方創生」  
マレーシア「『経済発展と自然破壊』～プランテーションと森林破壊～」

指導・助言： 乾 陽子氏（大阪教育大学 准教授）

祖田 亮次氏（大阪市立大学 教授）

アドバイザー：今岡 良子氏（大阪大学 准教授）

外部講師：ナッチー・直子氏（英語講師）、ティモシー・カーン氏（関西学院大学講師）

①授業『経済発展、環境保護、再生可能エネルギー』についての課題研究

大学の講師や専門家による講義、英語プレゼンテーション講座、校外発表・活動など

②海外実態調査：

マレーシア 2019年8月4日（日）～9日（金）6日間

◎マレーシアでは熱帯雨林がパームオイルプランテーションに変わっていく中で進む環境破壊と経済発展の様子を、サバ州を訪れ現地で調査を行います。

ドイツ 2019年9月2日（月）～7日（土）6日間

◎ドイツ・ブリロン市を訪問し、シュタットベルケの取組みについて学び、能勢町での再生可能エネルギー利用について考えます。

マレーシア 2020年1月17日（金）～19日（日）3日間

◎マレーシアのサラワク州を訪れ、熱帯雨林の調査を行い、その後2年生修学旅行団と合流します。

③発表会

◎2019年11月1日（金）SGH中間発表会 @ささゆり学園

◎2020年2月15日（土）SGH研究発表会 @浄るりシアター

1, 2, 3年生（全員）

3年生はSG基礎知識講座、1, 2年生はGS基礎講座を、「総合的な学習の時間」などで、外部講師による講演やワークショップを全員が受講し、グローバルな視点で課題に取り組む力を身につけます。また、学びの集大成を3学期の課題研究成果発表会にて発表します。



**能勢町地域連携公開講座**

今年9月、2年GS講座受講生徒4名が、能勢町の行うドイツ・ブリロン市訪問に同行し、シュタットベルケ(\*)視察など実態調査を行います。それに先がけ、『地域にとっての持続可能性とは何か?』『再生可能エネルギーとは?』『能勢を活性化するには?』高校生と町民のみなさんと一緒に考える、公開講座を行います。

(\*)シュタットベルケ (STADT WERKE) とは…

ドイツにおいて、電気、ガス、水道、交通などの公共インフラを整備・運営する自治体所有の公益企業(公社)。シュタットベルケはドイツ語で直訳すると“町の事業”を意味する言葉です。いま、日本の多くの自治体がこのシュタットベルケをお手本としたエネルギー事業を糸口にし地域の課題を解決し、地域活性化につなげようという動きが日本全国で広がっています。

➤3年SG・2年GS 重点講座

☞5月22日(水) 『パリスタから見た ドイツ人の環境問題への取組み』

・講師：中村 靖彦氏（ドイツ在住パリスタ、DJ）

・時間：15:30～17:00

・場所：能勢高校 本館2F 生物教室

☞6月5日(水) 『掛川市における日本版シュタットベルケの取組み』

・講師：久保田 崇氏（静岡県掛川市副市長）

・時間：15:30～17:00

・場所：能勢高校 本館2F 生物教室

➤1年GS 課題探究基礎講座

☞6月11日(火) 『能勢にとっての《SDGs》とは』

・講師：榎原 友樹氏（株式会社 E-Konzal 代表取締役）

・時間：5, 6限(13:10～15:00)

・場所：能勢高校 本館2F 生物教室



➤1・2年GS 課題探究基礎講座

☞7月2日(火) 『ドイツ視察へ向けて シュタットベルケの取組み』

・講師：川又 孝太郎氏（環境省 課長）

・時間：5, 6限(13:10～15:00)

・場所：能勢高校 本館3F 視聴覚教室



☺上記の講座はどなたでもいつからでも参加いただけます！  
申込みは不要です。どうぞお気軽にお越しください。